

大学番号：国001

注3

意見伺い

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学校教育法第100条）の設置

注1

北海道大学大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学
平成29年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜北海道大学大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻（修士課程）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4. 既設大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大学名 北海道大学

(3) 大学の位置

〒060-0809： 北海道札幌市北区北9条西9丁目
(〒060-0808： 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学院長	(イノウエ タカシ) 井上 京 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院国際食資源学院 国際食資源学専攻 (修士課程) 修士(食資源学)	農学関係	2年	15人	30人	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成29年度	平成30年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	15 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.13倍
志願者数	26 () [9]	- () []	() () []	() () []	
受験者数	26 () [9]	- () []	() () []	() () []	
合格者数	21 () [6]	- () []	() () []	() () []	
B 入学者数	17 () [3]	- () []	() () []	() () []	
入学定員超過率 B/A	1.13				

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	17 [3] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()			
2年次	/		[] ()	[] ()			
3年次	/		/				
計	17 [3] (-)		[] ()				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	17人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
合計	17人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<大学院国際食資源学院 国際食資源学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総論科目	食資源学総論	1① 1④②	2			4 3	4					兼 2 教育効果の向上を図るため開講期を変更 (H29. 4) 昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕
	食資源生産論	1①	2			6 4	1 3	1	1			兼 3 兼 4 兼担・兼任教員の変更 (H29. 4) 昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕
	食資源環境論	1①	2			2	1	1				兼 5 昇任による職名変更 (H29. 4)
	食資源ガバナンス論	1①	2			2 4	3 4	1				兼 3 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕
	食資源倫理論	1③④ 1④②	1			1						教育効果の向上を図るため開講期を変更 (H29. 4)
必修科目	ワンダーフォーゲル実習 I	1②③	1			1	1					
	事前・事後演習 I	1②③	1			1	1					
	ワンダーフォーゲル実習 II	1④	1			1	4	2				昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕
	事前・事後演習 II	1④	1			1	4	2				昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕
演習・研究科目	食資源学演習 I	1通	2			9 7	7 9	3	2			昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 マル合〕 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 マル合〕
	食資源学演習 II	2通	2			9 7	7 9	3	2			昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 マル合〕 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 マル合〕
	食資源学研究 I	2通	4			9 7	7 9	3	2			昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 マル合〕 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 マル合〕

テーマ科目	生物生産技術特論	1③	1		2 4	4	1			兼 3	昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕	
	ポストハーベスト技術特論	1④	1		1					兼 3	2 兼任・兼任教員の変更 (H29. 4)	
	持続的生産特論演習	1②	1		2 4	1 2		1		兼 3	昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕	
	食と健康特論演習	1②	1		1	1				兼 6		
	環境資源特論	1①	1		1	1	1	1		兼 2		
	水土管理特論	1②	1		2	2	1					
	環境解析とモニタリング特論演習	1③	1		1	3	1	1		兼 2		
	環境管理特論演習	1④	1		2	2	1	1		兼 2		
	国際食資源経済学特論	1③	1		1 1	1 2		1			昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕	
	分析経済学特論	1②	1		1							
	比較農村社会学特論演習	1④	1			2						
	食資源統計学特論演習	1①	1		1 1	1 2					昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕	
	フィールドワーク科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅲ	2通	1		2	2	1				
		事前・事後演習Ⅲ	2通	1		2	2	1				
ワンダーフォーゲル実習Ⅳ		2通	1		1 1	1 2					昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕	
事前・事後演習Ⅳ		2通	1		1 1	1 2					昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕	
ワンダーフォーゲル実習Ⅴ		2通	[1]		9 7	7 9	3	2			昇任による職名変更 (H29. 4) 〔担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可〕	
選択科目	国際実践力演習	1①②	2			1						
	国際プレゼンテーションスキル演習	1③④	2			1						
	文系のための自然科学基礎論	1①②	2			1						
	国際理解	1通	1							兼 1		

食資源特別講義	GMO, 食, 農業	1・2③	1		1	1					昇任による職名変更 (H29. 4) 担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	農業の多様性	1・2②	1		1			1			兼 2
	動物生殖工学	1・2③	1		1						兼 2
	バイオエネルギー	1・2④	1					1			兼 2
	資源回収型サニテーション	1・2④	1		1						兼 1
	水・エネルギー・食料連携	1・2④ 1・2③	1		1						兼 1 教育効果の向上を図るため開講 期を変更 (H29. 4)
	経済政策論	1・2②	1		1						
	応用計量経済学	1・2④	1			1					兼 5
	農業技術開発論	1・2③	1					1			1 兼任・兼任教員の変更 (H29. 4) 兼 2
	農資源経済学	1・2②	1					1			1 兼任・兼任教員の変更 (H29. 4) 兼 4
	食文化論	1・2通	1			1					兼 1
	漁業管理論	1・2③	1		1		+				昇任による職名変更 (H29. 4) 兼 2 担当 松石 隆 (教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可
	ワイン生産学	1・2通	1		1		+				昇任による職名変更 (H29. 4) 兼 1 担当 曾根輝雄 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	食資源特別演習										
気候変動と生態系	1・2④	1						1		兼 1	
近代農村政治史	1・2②	1				1					
農村グローバル政治史	1・2③	1				1					
食資源経済統計学	1・2②	1				1				兼 1	
アフリカの未来の農村社会	1・2通	1								兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任, 兼任の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	39		51	12	39		51	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{51} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	923,867 m ²	0 m ²	0 m ²	923,867 m ²			
	運動場用地	175,488 m ²	0 m ²	0 m ²	175,488 m ²			
	小 計	1,099,355 m ²	0 m ²	0 m ²	1,099,355 m ²			
	そ の 他	659,049,323 m ²	0 m ²	0 m ²	659,049,323 m ²			
	合 計	660,148,678 m ²	0 m ²	0 m ²	660,148,678 m ²			
(2) 校 舎	専 用	776,494 m ²	0 m ²	0 m ²	776,494 m ²	大学全体		
	(776,494 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(776,494 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	1室	3室	3室	0室 (補助職員 0 人)	0室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際食資源学院			21 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	学院単位での特定が不能なため、大学全体の数
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種		点	点	点		
	国際食資源学院	3,838,813 [1,788,390]	84,673 [37,105]	21,399 [20,170]	89,444 (89,444)	0 (0)	0 (0)	
	計	3,838,813 [1,788,390]	84,673 [37,105]	21,399 [20,170]	89,444 (89,444)	0 (0)	0 (0)	
		3,838,813 [1,788,390]	84,673 [37,105]	21,399 [20,170]	89,444 (89,444)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		同上	
	33,542 m ²		2,224 席		425 万冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					同上
	7,429 m ²		テニスコート(11)、野球場(3)、プール(2)、ホッケー・ハンドボール場(1)、陸上競技場(1)、サッカーラグビー場(1)、アメリカンフットボール・ラグビー場(1)、スポーツトレーニングセンター(1)、武道場(1)、剣道場(1)、弓道場(1)、洋弓場(1)、ライフル射撃場(1)、ボート艇庫(1)、ヨット艇庫(1)、馬場(1)、山小屋(4)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		北海道大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
文学部							S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部			③10				S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50		220	学士(教育学)	1.12	S24		
法学部			②/③				S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	10/10	850	学士(法学)	1.04	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)		S28		入学時点で学科未定
経営学科	4	90		360	学士(経営学)		S41		
理学部							S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.00	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.00	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.03	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.02	H6		
医学部							S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720		1.04	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
看護学専攻	4	70		280	学士(看護学)/(保健学)	1.09	H16		
放射線技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.01	H16		
検査技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
理学療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.00	H16		
作業療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
歯学部							S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	1.00	S42		
薬学部						-	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)		H18		入学時点で学科未定かつ両学科で修業年限が異なるため超過率計算不能
薬学科	6	30		180	学士(薬学)		H18		
工学部			③10				S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.06	H17		
情報工学科	4	180		720	学士(工学)	1.06	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.14	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.02	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		入学時点で学科未定
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)		H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)		H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)		H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)		S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)		S24		
獣医学部							S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.04	H24		
水産学部						1.00	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		入学時点で学科未定
海洋資源科学科	4	53		212	学士(水産学)		H18		
増殖生命科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		
資源機能化学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		

文学研究科							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学	M	2	14	28	修士(文学)	0.82	H12		
	D	3	6	18	博士(文学)	0.55	H12		
歴史地域文化学	M	2	28	56	修士(文学)/(学術)	0.71	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)/(学術)	0.75	H12		
言語文学	M	2	29	58	修士(文学)	0.93	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	0.87	H12		
人間文化科学	M	2	19	38	修士(文学)	1.34	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学	M	2	20	40	修士(法学)	0.90	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.37	H12		
法律実務	P	3	50	150	法務博士(専門職)	0.86	H16		
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学	M	2	-	-	修士(医科学)	-	H14		
医学	D	4	-	-	博士(医学)	-	H19		
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学	M	2	48	96	修士(工学)/(情報科学)	0.93	H26		
	D	3	12	36	博士(工学)/(情報科学)	0.72	H26		
情報ソフトウェア	M	2	39	78	修士(工学)/(情報科学)	1.11	H16		
	D	3	8	24	博士(工学)/(情報科学)	0.79	H16		
生命人間情報科学	M	2	33	66	修士(工学)/(情報科学)	0.82	H16		
	D	3	6	18	博士(工学)/(情報科学)	0.33	H16		
メディアネットワーク	M	2	30	60	修士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
	D	3	8	24	博士(工学)/(情報科学)	1.03	H16		
システム情報科学	M	2	27	54	修士(工学)/(情報科学)	1.27	H16		
	D	3	8	24	博士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
水産科学院							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学	M	2	43	86	修士(水産科学)	0.99	H17		
	D	3	17	51	博士(水産科学)	0.30	H17		
海洋応用生命科学	M	2	47	94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18	54	博士(水産科学)	0.51	H17		
環境科学院							H17	札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学	M	2	44	88	修士(環境科学)	0.90	H17		
	D	3	15	45	博士(環境科学)	0.57	H17		
地球圏科学	M	2	35	70	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	14	42	博士(環境科学)	0.49	H17		
生物圏科学	M	2	52	104	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	23	69	博士(環境科学)	0.57	H17		
環境物質科学	M	2	28	56	修士(環境科学)	0.99	H17		
	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.60	H17		
理学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
数学	M	2	46	92	修士(理学)	0.84	H18		
	D	3	17	51	博士(理学)	0.44	H18		
物性物理学	M	2	24	48	修士(理学)	0.95	H18		
	D	3	10	30	博士(理学)	0.70	H18		
宇宙理学	M	2	20	40	修士(理学)	0.82	H18		
	D	3	9	27	博士(理学)	0.92	H18		
自然史科学	M	2	39	78	修士(理学)	1.26	H18		
	D	3	20	60	博士(理学)	0.93	H18		

農学院							H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生生態学	M	2	40	80	修士(農学)	0.71	H18		
	D	3	8	24	博士(農学)	1.04	H18		
生物資源科学	M	2	42	84	修士(農学)	1.18	H18		
	D	3	14	42	博士(農学)	0.57	H18		
応用生物科学	M	2	18	36	修士(農学)	1.99	H18		
	D	3	6	18	博士(農学)	0.77	H18		
環境資源学	M	2	42	84	修士(農学)	1.17	H18		
	D	3	14	42	博士(農学)	0.78	H18		
生命科学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学	M	2	132	264	修士(生命科学)/(薬科学)	0.93	H18		
	D	3	46	138	博士(生命科学)/(薬科学)	0.79	H18		
臨床薬学	D	4	4	16	博士(臨床薬学)	1.56	H24		
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学	M	2	45	90	修士(教育学)	0.96	H19		
	D	3	21	63	博士(教育学)	0.67	H19		
国際広報・IT・観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報・IT	M	2	27	54	修士(国際広報・IT)/(学術)	1.05	H19		
	D	3	14	42	博士(国際広報・IT)/(学術)	0.54	H19		
観光創造	M	2	15	30	修士(観光学)	1.03	H19		
	D	3	3	9	博士(観光学)	1.33	H19		
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学	M	2	40	80	修士(保健科学)/(看護学)	1.50	H20		
	D	3	10	30	博士(保健科学)/(看護学)	1.09	H22		
工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学	M	2	33	66	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.55	H22		
材料科学	M	2	39	78	修士(工学)	1.01	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学	M	2	27	54	修士(工学)	1.16	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム・デザイン	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
IT・IT-環境システム	M	2	26	52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.66	H22		
量子理工学	M	2	20	40	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境フィールド工学	M	2	24	48	修士(工学)	1.14	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.77	H22		
北方圏環境政策工学	M	2	26	52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.61	H22		
建設都市空間デザイン	M	2	22	44	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム	M	2	27	54	修士(工学)	0.94	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
環境創生工学	M	2	28	56	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.33	H22		
環境循環システム	M	2	18	36	修士(工学)	1.29	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.53	H22		
共同資源工学	M	2	10	20	修士(工学)	1.30	H29		平成29年4月設置
総合化学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.13	H22		
	D	3	38	114	博士(理学)/(工学)/(総合化学)	1.10	H22		
経済学院							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営	M	2	35	70	修士(経済学)/(経営学)	1.10	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学)/(経営学)	0.65	H12		
会計情報	P	2	20	40	会計修士(専門職)	0.87	H17		

医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医科学	M	2	20	40	修士(医科学)/(公衆衛生学)	1.45	H29		
医学	D	4	90	360	博士(医学)	0.93	H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学	D	4	40	160	博士(歯学)	0.72	H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学	D	4	16	64	博士(獣医学)	1.05	H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医理工学	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.25	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.20	H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月設置
感染症学	D	4	12	48	博士(感染症学)/(獣医学)	0.91	H29		
国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目	平成29年4月設置
国際食資源学	M	2	15	30	修士(食資源学)	1.13	H29		
公共政策学教育部							H17	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学	P	2	30	60	公共政策学修士(専門職)	1.14	H17		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院国際食資源学院 国際食資源学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	大塚 吉則	平成29年4月	食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	教授	川村 周三	平成29年4月	食資源生産論 ポストハーベスト技術 特論 ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	教授	高橋 昌志	平成29年4月	食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(動物 生施工学) ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	教授	山田 敏彦	平成29年4月	食資源学総論 食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業 の多様性) ワンダーフォーゲル 実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	教授	井上 京	平成29年4月	食資源学総論 食資源環境論 食資源倫理論 環境資源特論 水土管理特論 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル 実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	教授	船水 尚行	平成29年4月	食資源学総論 食資源環境論 水土管理特論 環境解析とモニタリ ング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別講義(資 源回収型サニテー ション) 食資源特別講義 (水・エネルギー・ 食料連携) ワンダーフォーゲル 実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル 実習V 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						

専	教授	久保田 肇	平成29年4月	食資源ガバナンス論 分析経済学特論 食資源特別講義（経済政策論） ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	曾根 輝雄	平成29年4月	食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義（GMO、食、農業） 食資源特別演習（ワイン生産学） ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	専	教授	曾根 輝雄	平成29年4月	食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義（GMO、食、農業） 食資源特別演習（ワイン生産学） ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	昇任（准教授→教授） 平成28年11月 AC教員審査済（29）
専	准教授	武田 晴治	平成29年4月	食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	石井 一暢	平成29年4月	環境解析とモニタリング特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	内田 義崇	平成29年4月	環境資源特論 水土管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 持続的生産特論演習 食資源特別講義（GMO、食、農業） ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	川口 俊一	平成29年4月	食資源環境論 水土管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 国際実践力演習 国際プレゼンテーションスキル演習 文系のための自然科学基礎論 ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						

専	准教授	小林 国之	平成29年4月	食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 比較農村社会学特論 演習 食資源特別講義（食文化論） ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	中谷 朋昭	平成29年4月	食資源ガバナンス論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義（応用計量経済学） 食資源特別演習（食資源経済統計学） ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	鍋島 孝子	平成29年4月	食資源ガバナンス論 比較農村社会学特論演習 食資源特別演習（近代農村政治史） 食資源特別演習（農村グローバル政治史） ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	准教授	松石 隆	平成29年4月	食資源学総論 食資源生産論 食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義（漁業管理論） 持続的生産特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	専	教授	松石 隆	平成29年4月	食資源学総論 食資源生産論 食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義（漁業管理論） 持続的生産特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	昇任（准教授→教授） 平成29年1月 AC教員審査済（29）
専	講師	高牟禮 逸朗	平成29年4月	食資源生産論 生物生産技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	講師	柏木 淳一	平成29年4月	食資源環境論 環境資源特論 水土管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						

専	講師	齋藤 陽子	平成29年4月	食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源特別講義（農業技術開発論） 食資源特別講義（食資源経済学） ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	助教	高須賀 太一	平成29年4月	食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義（農業の多様性） 食資源特別講義（バイオエネルギー） ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
専	助教	加藤 知道	平成29年4月	環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別演習（気候変動と生態系） ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ						
兼任	教授	荒木 肇	平成29年4月	持続的生産特論演習						
兼任	教授	綾部 時芳	平成29年4月	食と健康特論演習						
兼任	教授	齋藤 健	平成29年4月	食と健康特論演習						
兼任	教授	千葉 仁志	平成29年4月	食と健康特論演習						
兼任	教授	山内 太郎	平成29年4月	食と健康特論演習						
兼任	教授	浦木 康光	平成29年4月	環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習						

兼任	教授	ジャン・ロベール・ピット Jean Robert Pitte	平成29年4月	食資源学総論 食資源ガバナンス論 食資源特別講義 (食文化論)						
兼任	教授	ブライアン・グランド・フォックス Brian Grant Fox	平成29年4月	食資源学総論 食資源特別講義 (バイオエネルギー)						
兼任	教授	井上 健太郎	平成29年4月	食資源生産論 ポストハーベスト 技術特論	兼任	准教授	小関 成樹	平成29年4月	食資源生産論 ポストハーベスト 技術特論	平成28年8月 教員退職による変更 (29)
兼任	教授	ロバート・ハックマン Robert Hackman	平成29年4月	食資源生産論 食と健康特論演習						
兼任	教授	ランス・H・バウムガート Lance H. Baumgard	平成29年4月	食資源環境論						
兼任	教授	ロジャー・ブレット・ボルトン Roger Brett Boulton	平成29年4月	ポストハーベスト 技術特論 食資源特別演習 (ワイン生産学)						
兼任	教授	スザン・カパルボ Susan Capalbo	平成29年4月	食資源特別講義 (農業技術開発論)	兼任	非常勤講師	ジョン・アントル John Antle	平成29年4月	食資源特別講義 (農業技術開発論)	本務の都合により来日が困難となったため、担当教員を変更 (29)
兼任	教授	デービッド・パネール David Pannell	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)	兼任	非常勤講師	クリストファー・M・アンダーソン Christopher M. Anderson	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)	本務の都合により来日が困難となったため、教員を変更 (29)
兼任	教授	フィリップ・カルプ Philippe Karpe	平成29年4月	食資源特別演習 (アフリカの未来の農村社会)						
兼任	准教授	小関 成樹	平成29年4月	食資源生産論 ポストハーベスト 技術特論						
兼任	准教授	井尻 成保	平成29年4月	生物生産技術特論						

兼任	准教授	永野 昌志	平成29年4月	生物生産技術特論						
兼任	准教授	ルチアノ・アドリアン・ゴンザレス Luciano Adrián González	平成29年4月	食資源環境論						
兼任	准教授	マイケル・アラソ・カーティス Michael Alan Kertesz	平成29年4月	食資源環境論						
兼任	准教授	渥美 正太	平成29年4月	生物生産技術特論 食資源特別講義 (バイオエネルギー)						
兼任	准教授	リカード・サンベリ Rickard Sandberg	平成29年4月	食資源特別演習 (食資源経済統計学)						
兼任	講師	岡田 啓嗣	平成29年4月	環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習						
兼任	講師	ブライアン・ジョセフ・ジョーンズ Brian Joseph Jones	平成29年4月	食資源環境論						
兼任	助教	唄 花子	平成29年4月	食資源特別講義 (動物生殖工学)						
兼任	助教	古川 貴之	平成29年4月	食と健康特論演習						
兼任	助教	三谷 朋弘	平成29年4月	持続的生産特論演習 食資源特別講義 (農業の多様性)						
兼任	助教	アマダ・ベイヤー Amanda Bayer	平成29年4月	持続的生産特論演習 食資源特別講義 (農業の多様性)						

兼任	助教	ニコラ・デルバルト Nicolas Delbart	平成29年4月	食資源特別演習 (気候変動と生態系)	兼任	准教授	ニコラ・デルバルト Nicolas Delbart	平成29年4月	食資源特別演習 (気候変動と生態系)	昇任(助教→准教授)(29)
兼任	助教	ギザニ・モクタル Guizani Mokhtar	平成29年4月	食資源環境論 食資源特別講義 (資源回収型サニテーション) 食資源特別講義 (水・エネルギー・食料連環)						
兼任	助教	メーデー・カウナン Methee Kaewnern	平成29年4月	食資源特別講義 (漁業管理論)						
兼任	非常勤講師	有路 昌彦	平成29年4月	食資源生産論						
兼任	非常勤講師	粗 信仁	平成29年4月	国際理解						
兼任	非常勤講師	オー・サン・クワン Oh Sang Kwon	平成29年4月	食資源ガバナンス論						
兼任	非常勤講師	ジョン・スー・リム Jong Soo Lim	平成29年4月	食資源ガバナンス論						
兼任	非常勤講師	ジョン・アントル John Antle	平成29年4月	食資源特別講義 (農業技術開発論)						
兼任	非常勤講師	クリストファー・M・アンダーソン Christopher M. Anderson	平成29年4月	食資源特別講義 (漁業管理論)	兼任	非常勤講師	クリストファー・M・アンダーソン Christopher M. Anderson	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学) 食資源特別講義 (漁業管理論)	科目の追加(29)
兼任	非常勤講師	ピーター・ジェームズ・ハンセン Peter James Hansen	平成29年4月	食資源特別講義 (動物生殖工学)						
兼任	非常勤講師	ロス・キングウェル Ross Kingwell	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	兼任	非常勤講師	マリット・エレン・クラフト Marit Ellen Kragt	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	本務の都合により来日が困難となったため、担当教員を変更(29)

兼任	非常勤講師	ステイブン・シュイリツツイ Steven Schilizzi	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	兼任	非常勤講師	マリット・エレン・クラット Marit Ellen Kragt	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	本務の都合により来日が困難となったため、担当教員を変更(29)
兼任	非常勤講師	マリット・エレン・クラット Marit Ellen Kragt	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)						
兼任	非常勤講師	ジェームズ・フォガティー James Fogarty	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)						
兼任	非常勤講師	クリスティーナ・アレキサン ドラ・オリベイラ・アマ ド Cristina Alexandra Oliveira Amado	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)						
兼任	非常勤講師	モハメド・サイード・イ フター Md Sayed Iftekhar	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	兼任	非常勤講師	マリット・エレン・クラット Marit Ellen Kragt	平成29年4月	食資源特別講義 (農資源経済学)	本務の都合により来日が困難となったため、担当教員を変更(29)
兼任	非常勤講師	アミン・ウィリアム・ムゲ ラ Amin William Mugera	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)						
兼任	非常勤講師	ラム・パンディット Ram Pandit	平成29年4月	食資源特別講義 (応用計量経済学)						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	9	3	2	21	9	7	3	2	21	9	7	3	2	21
(9)	(7)	(3)	(2)	(21)						[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
19	2	0			19	2	0			19	2	0		
(19)	(2)	(0)								[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
	必修 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計 科目	計	科目	計	科目	計	科目
0	人						

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	学位の英語名称について、他大学の教育課程の事例を踏まえて説明がなされているが、「Food Resources」と同一の学位名称の事例がなく国際通用性があるかどうか不明瞭であるため、国際通用性の観点を踏まえ、The degree of Master of Food Resourcesと学位を設定する理由についての説明を充実すること。	留意事項 本学院が学位名を「Food Resources」とした理由は、補正計画書に記載したとおり、以下の3点である。 ① 特定の学問分野に特化することなく、複数の学問領域にまたがって食資源問題にアプローチする本学院の教育内容を、シンプルに表現できていること。 ② 米国・欧州・豪州・アジアの企業人、国際機関職員、大学教員等に説明したところ、Food Resourcesという学位名が、本学院の教育内容を最も正確に表現しているという賛同が得られたこと。 ③ 食資源学の教育プログラムは各国に多数の先行事例があり、食資源学という分野が世界的に浸透しつつあること。 学位の国際通用性を計る上で重要なことは、「名称に先例があること」だけではなく、「どのようなバックグラウンド（国籍、職業、専門性等）を持つ者にとっても、学位名から教育内容が容易に把握できること」である。①～③は、この観点を満たしており、「Food Resources」という名称は、国際通用性を担保できていると考えている。	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院国際食資源学院 国際食資源専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（大学全体のFDを実施） 2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会（国際食資源学院のFDを実施） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）（番号はaに対応）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（平成29年度開催予定） 2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会（平成29年度開催予定） <p>c 委員会の審議事項等（番号はaに対応）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関する事 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関する事 その他教職員等の研修に関する事 2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会 教育課程及び授業に関する事項 学生の入学及び修了に関する事項 学位論文及び学位審査に関する事項 教育・指導に関する事項 ワンダーフォーゲル実習に関する事項 学生便覧、シラバス、時間割、学事暦等に関する事項 学生の国際交流に関する事項 奨学金に関する事項 学生の懲戒に関する事項 FDに関する事項 その他教務・厚生補導に関する事項

② 実施状況（平成28年度農学研究院実施状況）

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

a 実施内容

本学教職員を対象としたFDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式、講義形式、講演会等の本学教職員を対象としたFDの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度の実施状況は以下のとおりであり、平成29年度も継続的にFDを実施する予定である。

- ・「クリッカーの使い方入門」研修（4/22, 5/26, 北大：19名, 北大以外：9名）
- ・「学習への動機付けを行う授業スキル」ワークショップ（5/13, 北大：11名, 北大以外：5名）
- ・新任教員向け研修「知って活用したい北大の諸制度」（5/20, 北大：36名）
- ・ワークショップ「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」（5/27, 北大：21名, 北大以外：8名）
- ・総長室事業推進経費プロジェクトによる北大教育改革に係る研究成果発表ワークショップ（6/8, 北大：37名）
- ・第29回北海道大学教育ワークショップ（6/17-18, 北大：21名）
- ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの実践」（5-7月, 期間中4回, 北大：6名）
- ・講演会「第三期中期計画・中期目標からみる今後の国立大学の方向性」（6/22, 北大：93名, 北大以外：16名）
- ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」（6/23, 北大：16名, 北大以外：10名）
- ・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」（6/30, 北大：28名, 北大以外：5名）
- ・ルーブリック評価表作成ワークショップ（7/8, 北大：18名, 北大以外：13名）
- ・英語発音力講座（7/9, 11, 北大：94名, 北大以外：1名）
- ・ワークショップ「英語でシラバスを作成する」（8/22, 北大：11名）
- ・国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証～SA, TA, PFFなどのこれから～」（9/8, 北大：43名, 北大以外：13名）
- ・Workshop on creating rubrics（9/13, 北大：8名, 北大以外：1名）
- ・第30回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15, 北大：21名, 北大以外：6名）
- ・講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（11/11, 北大：33名, 北大以外：19名）
- ・第31回北海道大学教育ワークショップ（11/18-19, 北大：15名, 北大以外：1名）
- ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」（12/9, 北大：7名, 北大以外：7名）
- ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（前編）（12/12, 北大：36名, 北大以外：11名）
- ・シラバスのブラッシュアップ研修（12/17, 北大：9名, 北大以外：7名）
- ・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（後編）（12/19, 北大：14名）
- ・研究室マネジメント研修（1/27, 北大：13名, 北大以外：4名）
- ・英語コミュニケーション研修（リスニング研修）（2/10, 北大：24名, 北大以外：6名）
- ・英語コミュニケーション研修（スピーキング研修）（2/11, 北大：21名, 北大以外：7名）
- ・講演「日本語による授業から英語による授業へ」（3/29, 北大：40名, 北大以外：7名）
- ・部局長研修会（4/25-3/9, 期間中8回）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会

本学の農学研究院における平成28年度のFD実施状況は以下のとおりであり、本学院も下記を参考にFDを実施する予定である。

a 実施内容

1. 平成28年度第1回FD研修会「北海道大学におけるハラスメント対応の現状と課題」
2. 平成28年度第2回FD研修「化学物質を取り扱う研究室の安全対策」
3. 平成28年度第3回FD研修「学生のメンタルヘルスのために」

b 実施方法（番号はaに対応）

1. 学内ハラスメント相談室長を招き講演、討論
2. 学内安全衛生本部副本部長を招き講演。
3. 学内保健センターカウンセラーを招き講演、ビデオ視聴、ロールプレイ

c 開催状況（教員の参加状況含む）（番号はaに対応）

1. 平成28年 9月12日（月） 参加者：農学研究院に所属する教員28名，事務職員4名
2. 平成28年11月24日（木） 参加者：農学研究院に所属する教員16名，事務職員4名
3. 平成28年12月20日（火） 参加者：農学研究院に所属する教員23名，事務職員1名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

農学研究院では毎年FDを実施しており、多くの教員がFDに参加している。

ハラスメントやメンタルヘルスのFDでは実際の事例も交えて討論等を行い、多様化している教育環境の中、学生への研究指導や授業での学生への適切な対応や学生の話に傾聴する意識が高まった。また、研究室の安全対策にかかるFDでは、機器等の固定等安全管理に対する高い意識を持つことができ、学生の学習環境の改善に取り組んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケート報告書を作成し、高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長、科目責任者へ通知している。

アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートの実施等検討中

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には個別に結果を通知したり、学生には集計結果を掲示にて公表したりする方向で検討中。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>北海道大学国際食資源学研究院の設置の趣旨・目的は、地球規模で拡大する食資源問題の解決に関わる国際的なリーダーを養成するものである。</p> <p>食資源問題をProduction・Environment・Governanceの観点から包括的に理解するために、従来の文系・理系の枠を超えた分離融合型の学際的な教育を実施する。特色あるカリキュラムとして、個々の学生の課題や進路に応じたオーダーメイドにより、学生が国内外の研究機関に滞在する「ワンダーフォーゲル型実地体験学習」に加え、キャンパスでは招致した国内外の研究者による国際基準の教育を行うことにより、世界的なネットワークの中で人材育成をすすめることができると思われる。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎えた平成31年度を予定している。</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（平成32年度を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年 6月 1日)</p>
--

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

(趣旨)

第1条 この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成22年海大達第243号）第30条第3項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。
- (2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。
- (3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。
- (4) その他教職員等の研修に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 高等教育研修センター長（第5条において「センター長」という。）
 - (2) 高等教育研修センター副センター長（第5条において「副センター長」という。）
 - (3) 文学部、教育学部、法学部、経済学部、文学研究科、法学研究科、教育学院、国際広報メディア・観光学院、経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2名
 - (4) 理学部、工学部、農学部、水産学部、情報科学研究科、水産科学院、環境科学院、理学院、農学院、生命科学院、工学院、総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2名
 - (5) 医学部、歯学部、薬学部、獣医学部、保健科学院、医学院、歯学院、獣医学院、医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2名
 - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
 - (7) 総務企画部長
 - (8) 学務部長
 - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第3号から第6号まで及び第9号の委員は、機構長が委嘱する。

(任期)

第4条 前条第1項第3号から第6号まで及び第9号の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第8条 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

○北海道大学大学院国際食資源学院教務・学生委員会内規

(平成29年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院国際食資源学院組織運営内規(平成28年9月2日制定)第14条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院国際食資源学院教務・学生委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程及び授業に関する事項
- (2) 学生の入学及び修了に関する事項
- (3) 学位論文及び学位審査に関する事項
- (4) 教育・指導に関する事項
- (5) ワンダーフォーゲル実習に関する事項
- (6) 学生便覧, シラバス, 時間割, 学事暦等に関する事項
- (7) 学生の国際交流に関する事項
- (8) 奨学金に関する事項
- (9) 学生の懲戒に関する事項
- (10) FDに関する事項
- (11) その他教務・厚生補導に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 副学院長
- (2) 各領域の教員から2名
- (3) 北海道大学教務委員会委員(国立大学法人北海道大学教務委員会規程(平成11年2月17日海大達第9号)第3条第13号の委員)
- (4) その他学院長が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条第2号及び第4号の委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は第3条第1項第1号の委員をもって充て、副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の過半数で、かつ、各領域から最低1名以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決する。

(代理出席)

第7条 第3条第1項第2号の委員に事故があるときは、当該領域の教員を代理として出席させることができる。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、農学事務部において処理する。

(雑則)

第11条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この内規は、平成29年4月1日から実施する。

2 この内規の施行後、最初に委嘱される第3条第2号の委員のうちの各領域1名の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。